

劇 動物用医薬品 500mL

ふり及びかんぱちの α 溶血性連鎖球菌症の予防

アマリンレンサ[®]

初回投与約3ヶ月後に追加投与すれば
さらに長い予防効果が得られます。

投与の簡単な経口ワクチンです。

AMALIN RENZA

アマリンレンサの特長

α 溶血性レンサ球菌症を予防する経口ワクチンです。
投与が簡単で、魚に余分なストレスを与えません。
追加免疫投与が可能で、さらに長い予防効果が得られます。
容量が小さな(500ml)濃縮タイプで、低温下での保存が容易です。

アマリンレンサの安全性

ぶり及びかんぱちにアマリンレンサを1日当たりの容量(0.5ml/kg)あるいは10倍量(5ml/kg)を5日間投与しました。14日後まで接餌状況等の一般状態を観察し、試験最終日に剖検、血液検査等を行いました。
死亡例はなく一般状態等の全検査項目に以上は認められず、ぶり及びかんぱちに対してアマリンレンサの高い安全性が確認されました。

アマリンレンサの有効性

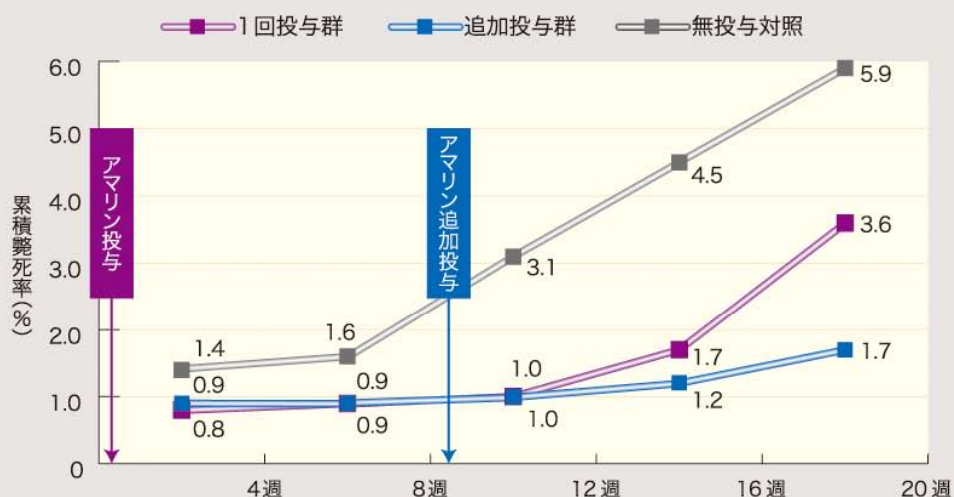
ぶりの臨床試験成績

各試験区で約10,000尾のぶり(平均魚体重175~245g)にアマリンレンサを投与して、無処理対照、1回投与並びに追加投与群間で連鎖球菌症による斃死尾数を測定して、アマリンレンサの効果を調べました。

下図に示す通り試験開始から20週後までの試験期間で、アマリンレンサの高い有効性が確認されました。

アマリンレンサの臨床効果 ぶりに対する効果

供試尾数・体重：無投与対照 11,640尾、213g
1回投与群 10,680尾、175g
追加投与群 10,690尾、245g
アマリン投与量：1回目0.5ml/kg、追加投与時0.125ml/kg
投与日数：5日間
試験開始：8月 愛媛県



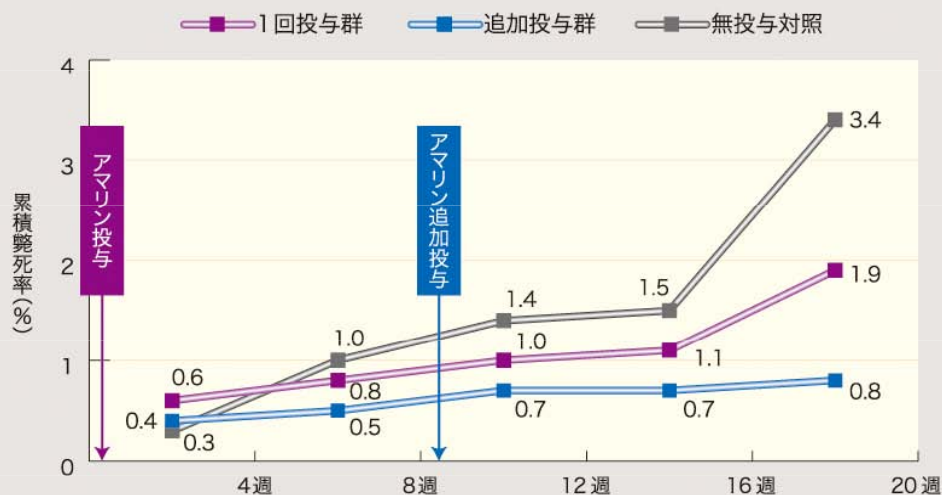
かんぱちの臨床試験成績

各試験区で6,500 ~7,500 尾のかんぱち(平均魚体重226 ~239g)にアマリンレンサを投与して、無処理対照、1回投与並びに追加投与群間で連鎖球菌症による斃死尾数を測定して、アマリンレンサの効果を調べました。

下図に示す通り試験開始から20 週後までの試験期間で、アマリンレンサの高い有効性が確認されました。

アマリンレンサの臨床効果 かんぱちに対する効果

供試尾数・体重：無投与対照 6,500 尾、239g
 1回投与群 6,500 尾、230g
 追加投与群 7,500 尾、226g
 アマリン投与量：1回目0.5ml/kg、追加投与时0.125ml/kg
 投与日数：5日間
 試験開始：5月 大分県





アマリンレンサの使い方

アマリンレンサは約100～400gのぶりまたはかんぱちに魚体重1kg当たり、1日量として0.5mLを5日間、飼料に均一に混ぜて与えてください。

なお、3か月以上の免疫効果を得るためには、初回投与約3か月後に1日量として魚体重1kg当たり0.125mL（4分の1量）を5日間追加投与することをお奨めします。アマリンレンサの1日量は分けずに1回の給餌時に与えてください。投与時の飼料の量は確実に食べ切れるように飽食量の80%を目安に用意して

ください。アマリンレンサの餌への添加量は比較的少量ですので、餌に均等に混ざるよう、与える飼料の種類に応じて適量の水道水でアマリンレンサを希釈してください。

希釈容器は雑菌など汚染のない清潔な容器を使用してください。

アマリンレンサは保存中に2層に分離しますので、必ずよく容器を振って（ふたを開ける前に、底面を上にして、底面の沈殿がなくなるまで激しく振って）均一な液としてからご使用ください。

飼料形態とアマリンレンサ投与時の希釈水道水量の目安

■ 初回投与時：総体重1,000kg 当たり

飼料の種類	給餌率 (%)	飼料量 (Kg) (配餌+生餌)	ワクチン (L)	水道水 (L)	備考
固形飼料	2	20+0	0.5	2.5～3.5	—
モイスト飼料	7:3	17.5+7.5	0.5	5.0～8.2	飼料が軟らか過ぎたら 展着剤使用
(配合飼料:生餌)	5:5	15+15	0.5	1.5～2.7	
	3:7	12+28	0.5	0.7～1.5	

■ 追加投与時：総体重1,000kg 当たり

飼料の種類	給餌率 (%)	飼料量 (Kg) (配餌+生餌)	ワクチン (L)	水道水 (L)	備考
固形飼料	2	20+0	0.125	2.9～3.9	—
モイスト飼料	7:3	17.5+7.5	0.125	5.4～8.6	飼料が軟らか過ぎたら 展着剤使用
(配合飼料:生餌)	5:5	15+15	0.125	1.9～3.1	
	3:7	12+28	0.125	1.1～1.9	

モイスト飼料（マイワシ4割）にアマリンレンサを添加し、3時間、室温（約27℃）に放置後投与した試験でも十分なワクチン効果が得られることを確認していますが、モイスト飼料、固形飼料ともにアマリンレンサの添加後はできるだけ速やかに投与してください。調餌後やむなく投与までに時間を要す場合はできるだけ冷所に置いてください。添加後に冷凍保存しないでください。



劇 動物用医薬品 500mL

アマリン・レンサ「経口用」

(ぶりα溶血性レンサ球菌症(酵素処理)不活性ワクチン)

アマリンレンサの概要

製法及び性状

本剤はラクトコッカス・ガルビエ(α溶血性レンサ球菌原因菌)の培養菌液を遠心集菌後、再浮遊して得た菌液を酵素処理し、リン酸緩衝液を加えた後、水酸化ナトリウム溶液でpH調整し、これにホルマリンを加えて攪拌後、静置して不活性化したものである。本剤は、静置すると褐色の透明な上層液と僅かに褐色を帯びた乳白色層に分かれ、振り混ぜれば帯濁乳白色、不透明の均一な懸濁液となる。pHは6.4～7.2である。

成分及び分量

ワクチン100mL 中:ラクトコッカス・ガルビエTE9501 株不活化菌総菌数 5×10^{12} 個以上、ホルマリン(日局)0.3mL 以下、塩化リゾチーム(局外規)3.0g 以下、20倍濃度リン酸緩衝液5mL、精製水 残量

効能又は効果

ぶり及びかんばちのα溶血性レンサ球菌症の予防

用法及び用量

平均魚体重約100～400gの健康なぶり又はかんばちに魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.5mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。なお、3か月以上の免疫効果を得るためには、初回投与約3か月後、魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.125mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。

貯法及び有効期間

- 遮光して、2～10℃に保存する。
- 有効期間は、3年間である。

包装

1本500mL

留意事項

本剤の製造過程において塩化リゾチームを使用しているが、製造後においては大半の酵素活性が失われているため、本剤を投与してもリゾチーム又はその塩類による魚類の表皮保護作用はない。

使用上の注意

(一般的注意)

- 本剤は定められた用法・用量を遵守すること。
- 本剤は効能・効果において定められた適応症の予防にのみ使用すること。
- 本剤はぶり又はかんばちのみに使用し、ひらまさには使用しないこと。
- 本剤は初回投与時には平均魚体重約100～400gの健康なぶり又はかんばちに使用すること。
- 本剤は水温20℃以下では使用しないこと。
- 本剤の使用に当たっては、指導機関(家畜保健衛生所、魚病指導センター、水産試験場等)の直接の指導を受けて使用すること。

(使用者に対する注意)

- 作業時にはメガネ、マスク等を着用し、本剤が眼、鼻、口等に入らないように注意すること。
- 誤って人の眼、鼻、口に入った場合は、直ちに水洗したのちに医師の診察を受けること。

本剤の成分の特徴

	抗原	不活化菌	アジュバント
ラクトコッカス・ガルビエ	人獣共通感染症に該当しない*		無

*:欧米においての人の心内膜炎からの分離例が報告されている(本ワクチンに含まれるすべての細菌は不活化されており、人に感染することはない)。本剤に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

シェリング・プラウ アニマルヘルス株式会社 アクアカルチャー事業部 マーケティング部
〒102-0075 東京都千代田区三番町5-7
TEL 03-3511-2038、FAX 03-3511-2541

(対象動物に対する注意)

1.制限事項:

- (1)本剤は、平均体重100g未満の群には投与しないこと。
- (2)本剤投与前には対象魚の健康状態について検査し、次のいずれかに該当する場合は投与しないこと。
 - 何らかの疫病にかかっていることが明らかなもの。
 - 疫病の治療を継続中又は治癒後4日以内のもの。
 - 異常遊泳やスレなど臨床で異常が認められるもの。
- (3)対象魚群が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与可否の判断を慎重に行うこと。
 - 他の薬剤投与後1週間以内のもの。
 - 摂餌不良や栄養障害が認められるもの。
- (4)本剤投与後、少なくとも1週間は安静につとめ、移動や選別は避けること。
- (5)初回投与3か月以降、病気の流行があると予測される場合は、第2回目の投与をすること。

2.相互作用:

本剤に他の薬剤を加えて使用しないこと。

3.適用上の注意:

- (1)本剤と飼料を混ぜる時に用いる器材はよく水洗した清浄なものをを用いること。
- (2)本剤を飼料に混ぜる時には、飼料の種類に応じて均一に添加できるよう、あらかじめ適量の水で希釈すること(パンフレットを参照下さい)。
- (3)本剤を混ぜる飼料の量は、飽食量の80%を目安に、速やかに食べ切れる量とすること。
- (4)本剤を混ぜる飼料には、本剤が吸着しない飼料を使用しないこと。
- (5)ワクチンを添加した飼料は保存せず当日の内に使い切ることを。

取扱上の注意

- 1.本剤は沈殿が均一に浮遊するまで十分に振り混ぜてから使用すること。
- 2.本剤容器は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
- 3.使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 4.外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- 5.開封時にアルミキャップの切断面で手指を切る場合があるので、注意すること。
- 6.一度開封したものは速やかに使用すること。
- 7.使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、医療廃棄物として専門業者に委託する等により処分すること。

保管上の注意

- 1.小児の手の届かない所に保管すること。
- 2.直射日光への暴露、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。

[2005年4月改訂]

製造販売元

 日生研株式会社

東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

発売元

 シェリング・プラウアニマルヘルス株式会社
アクアカルチャー事業部

東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー33階
TEL.03-690 1-1974 FAX.03-690 1-1982